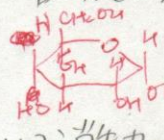
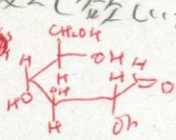


・ケルースのフィッシャー式の書き方をもう一度教えて欲しいです

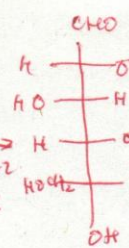
・いつか芳香族性を持つ、いつ消失かが理解できてほしい



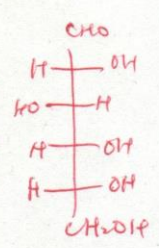
開環



CHOをEに、HをZにする



炭素鎖が上下方向に伸びる様に修正



D-グルコースのFischer式完成

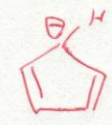


N上の2電子含めて6π系⇒芳香族性

N上の2電子は環状6π系形成に間与せず⇒芳香族性なし



Base(塩基) -H+

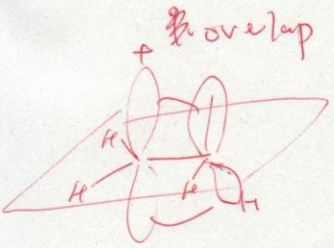


π系の共役がsp³炭素でとぎれていない⇒芳香族性なし

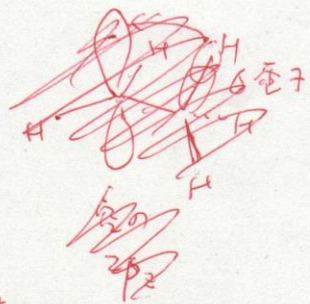
Oの部分の2電子は環状6π系形成に間与せず⇒芳香族性

右に示すで超共役はカルボカチオンの空軌道と隣接炭素-水素のC-H結合の相互作用と似たものですか。この構造の超共役と同じものがありますか？

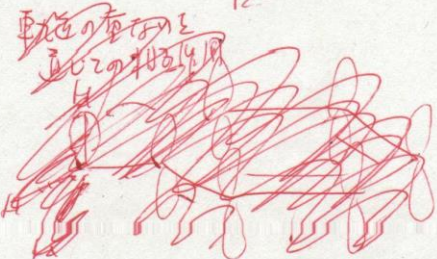
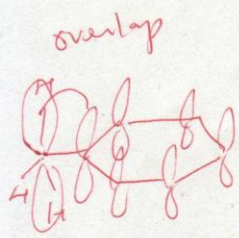
本質的に同じです



カルボカチオン



C軌道が隣接の空軌道に対して(ある程度)電子を供与



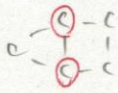
π軌道は空軌道への電子供与という=ππ*というように

キラルな化合物の (D) -, (L) - と
(+) -, (-) - の区別

と Fische's 式で描いたときの
構造に基づく命名
ここで決まる。これは L 体。
よく理解できていません。

環が 2 つ以上あるときの化合物の命名法が
よくわかりません

分子構造まったく関係なく
その物質の旋光度の符号に
よって命名



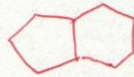
ビシクロ [2.1.0] ペンタン
この 2.1.0 は?

D と (+) (-) の関係は
分子の構造にもよる

赤の炭素どうして橋のルート上にある炭素の個数と等しい順にならせたもの



これは ビシクロ [3.2.1]



これは ビシクロ [4.3.0]

と Td

IRやCNMR, HNMR のどのような組合が

どのような位置にスポットルとしてでるか、はどの程度覚えるべきでしようか。

アミド、アミド原子のとり、アミド、アミド、(1,2,3) C=O (1,2,3) アミド

CNMRのスポットルは $-\overset{\text{O}}{\underset{\text{O}}{\text{C}}}-$ か $-\overset{\text{O}}{\underset{\text{O}}{\text{C}}}-\text{O}-$ とも $\rightarrow$ 大

化磁場側側に現れるのであるが、電気陰性度的に

$-\overset{\text{O}}{\underset{\text{O}}{\text{C}}}-\text{O}-$ の方が $-\overset{\text{O}}{\underset{\text{O}}{\text{C}}}-$ よりも 非遮へい化している

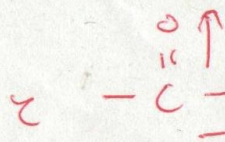
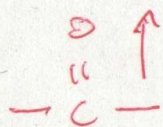
気がかりである。なぜであるか。

アミドである $\rightarrow$ S_n 軸存在 $\rightarrow$ 対称面 or 対称点
が存在

アミド

正しいである

もういっかい $\Leftrightarrow S_n$ 軸存在 $\rightarrow$ 対称面 or 対称心
存在

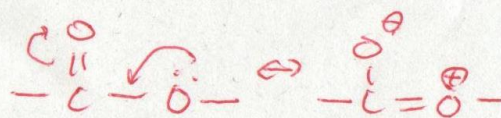


で、後者の

アミドの方がより電子不足では？という疑問です。

IR効果だけ見るとたいていそうだけど

R効果も考えれば



のように、~~アミドの電子不足は、アミドの電子不足~~
~~アミドの電子不足は、アミドの電子不足~~ によって、^{O上の}非共有電子対の電子は

C=Oのπ軌道の寄りになっています。それは途中に
炭素の上を通るので、「炭素上にある程度の電子が
あり状態」になります。この電子が大きいということでは